

30th

# サタデープログラムニュース

ノーコンティニューで紹介する！

色褪せないレトロゲームの世界

講座番号 22 番 第3部 (14:00~15:30)

講師 フジタさん [ファミコン芸人]



グレープカンパニー所属。1994年にスクールJCA3期生入学。当初は「クソゲーコンプレックス」というコンビをくんで活動していたが後に解散しピンで活動を続ける。コンビ解散を機にゲームネタから離れていたが、「浅草キッド」の玉袋筋太郎とゲームレコードGPにて共演した際、「どうして自分の持っているゲームの豊富さを生かさないんだ」と指摘され、現在のゲームを扱うスタイルとなる。ファミコンソフトに関する知識は芸人の枠を超えており、最近では文化人としても活動することがある。

## 家庭用ゲーム機の先駆け、ファミコン

今から36年も前、1983(昭和58)年に任天堂から発売された「ファミリーコンピュータ」(通称ファミコン)。

今の大人たちなら誰もがその名前を知っています。ゲームセンターでしか出来なかったアーケードゲームを家庭でも遊べるようにしたことと、値段が他の機種に比べ安かったことから、80年代に「ファミコンブーム」と呼ばれるほどに大ヒットし、ピーク時には年間販売数は300万台に。85~86年に発売された海外版ファミコ



ン・NES で、ファミコン人気は世界的なものとなりました。全世界累計販売は約 6,291 万台(日本国内は約 1,935 万台、海外は約 4,356 万台)。

私たちには馴染みのないファミコンですが、任天堂を世界的なゲーム会社にまで押し上げた伝説のゲーム機として聞いたことぐらひはあるでしょう。

また昨年 11 月に発売された「ニンテンドークラシック ミニ ファミリーコンピュータ」が、販売直後に各店舗で売り切れが続出するなどしてニュースにもなりました。大人の中には、子供の頃の思い出が忘れられず未だに根強いファンがいます。その一人が今回の講師のフジタさんなのであります。

## 15000 本以上ものソフトを持つ男？！

フジタさんは芸人として活動する傍ら、今の若者にレトロゲームの良さや当時のクソゲーやバカゲー（様々な原因から最低の評価を受けているゲームのこと、必ずしも人気が無いと言うことでは無く、クソゲーだけに興味があるというファンもいる）を広めるために自身でレビュー本を出版したりしています。

そうした豊富な知識の源となっているのが、子供時代から所有しているファミコンソフトです。その数なんと 15,000 本以上！

5つの倉庫と自宅に保管してあるそれらの量はすさまじく、現在フジタさんが生活出来ているスペースはほんとにわずかなんだそう。さらにすごいのがそれらのソフトをいまでもプレイしていること、仕事でネタを披露するときだけで無くプライベートでも一人で練習をしたり知人を招いてゲーム会をすることも時折あるそうです。

## 当日もプレイしていただきます！

そんなフジタさん。「ファミコン文化人」を名乗るだけあって鑑定眼もお持ちで、古物商の免許も所得しています。ゆくゆくは自前でファミコンミュージアムのようなものを開くことを考えています。

フジタさんがゲームをしながら、そのゲームのシステムやコツなどを解説・実況し、お客さんの笑いを誘う独特の芸も披露していただきます。

子供の頃、ファミコンに熱中していた大人の皆さん、今のゲームだけでは物足りないという皆さん、今までは見えていなかった新しいゲームの世界が開けるかもしれません。

当日はぜひこの講座へお越しください！！